

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 27 年 4 月 9 日 (2015.4.9)

【公開番号】特開 2013-172219 (P2013-172219A)

【公開日】平成 25 年 9 月 2 日 (2013.9.2)

【年通号数】公開・登録公報 2013-047

【出願番号】特願 2012-33496 (P2012-33496)

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/369 (2011.01)

H 0 4 N 5/378 (2011.01)

H 0 4 N 5/376 (2011.01)

【F I】

H 0 4 N 5/335 6 9 0

H 0 4 N 5/335 7 8 0

H 0 4 N 5/335 7 6 0

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 2 月 18 日 (2015.2.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の第 1 の光電変換素子と複数の第 2 の光電変換素子を有する撮像素子と、
前記撮像素子の画素ごとに設けられた複数のマイクロレンズと、
前記複数の第 1 の光電変換素子を使用した動画撮影と並行して前記複数の第 2 の光電変換素子を使用した静止画撮影を実行する制御手段と、
を有し、

各マイクロレンズは、撮影光学系の射出瞳の一部からの光束を少なくとも一つの第 1 の光電変換素子に導き、前記射出瞳の別の一部からの光束を少なくとも一つの第 2 の光電変換素子に導くことを特徴とする撮像装置。

【請求項 2】

各マイクロレンズは、前記第 1 の光電変換素子および前記第 2 の光電変換素子のそれぞれと前記射出瞳を光学的に共役にすることを特徴とする請求項 1 に記載の撮像装置。

【請求項 3】

前記複数の第 2 の光電変換素子の光電変換時間を制御する静止画シャッター手段を更に有することを特徴とする請求項 1 に記載の撮像装置。

【請求項 4】

前記静止画シャッター手段は、前記複数の第 2 の光電変換素子が蓄積した電荷を出力させる信号をあたえる電子シャッターであることを特徴とする請求項 3 に記載の撮像装置。

【請求項 5】

前記静止画シャッター手段は、前記撮影光学系を通過する光を透過および遮光することを特徴とする請求項 3 に記載の撮像装置。

【請求項 6】

前記静止画シャッター手段が遮光する領域の割合は各マイクロレンズに割り当てられた前記第 1 の光電変換素子と前記第 2 の光電変換素子の個数の割合に対応していることを特徴とする請求項 5 に記載の撮像装置。

【請求項 7】

前記静止画撮影の指示が入力される静止画撮影指示手段を更に有し、
前記制御手段は、静止画を撮影することを特徴とする請求項 1 乃至 6 のうちいずれか 1 項に記載の撮像装置。

【請求項 8】

前記制御手段は、所定の間隔で自動的に静止画を撮影することを特徴とする請求項 1 乃至 6 のうちいずれか 1 項に記載の撮像装置。

【請求項 9】

前記動画撮影の開始および停止の指示が入力される動画撮影指示手段を更に有し、
前記制御手段は、前記動画撮影指示手段に前記動画撮影の開始の指示が入力されると前記動画撮影を開始し、前記静止画撮影を行うかどうかにかかわらず、前記動画撮影指示手段に前記動画撮影の停止の指示が入力されるまで前記動画撮影を継続することを特徴とする請求項 1 乃至 8 のうちいずれか 1 項に記載の撮像装置。